

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	プログレッシブ 特進一貫	芸術	音楽		必修	1

講座のねらい

この講座では、実技の表現方法、鑑賞の幅広い活動を通して一人一人の生徒が楽しく音楽と関わり多彩な表現ができるようになることにポイントを置いています。また、日本の伝統音楽を学習し、西洋音楽との違いを考察します。

使用教材及び問題集

教科書：中学生の音楽 2・3 上 教育芸術社
中学生の器楽 教育芸術社
問題集：音楽のキャンパス 2 教育芸術社
その他：ソプラノリコーダー・又はアルトリコーダー

授業の内容と進め方

- ・授業一コマの時間配分を、実技・鑑賞と理論の大きな二分野に分けて進めていきます。
- ・様々な楽曲を、歌唱、リコーダー演奏両面から学習していきます。
- ・基本的な音楽理論を問題集で学習していきます。
- ・リズムの表現方法を学習します。

講座の到達目標

- ・歌唱においては、歌詞、曲想を理解し、発声にも工夫できるようにする。
- ・リコーダー演奏は、曲想にも注意し多彩な表現を確立する。
- ・基本的な音楽理論の確認とその応用。
- ・リズムの表現方法の習得。

評価の観点・テスト・課題など

- ・毎時間の授業に対する取り組み方を大切な評価の観点とします。
- ・授業の中での実技テストを実施します。
- ・学期末考査を実施します。

備考

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

- ・オリエンテーション
- ・歌唱表現
- ・リコーダーでの音楽表現
- ・リズム表現
ボディーパーカッション等
- ・音楽理論
- ・実技テスト実施（歌唱またはリコーダー演奏）
- ・学期末考査実施

2 学期 学習計画および学習内容

- ・日本の伝統音楽の鑑賞
- ・リコーダーアンサンブル
- ・ボイスアンサンブル
- ・ミュージカル映画等の鑑賞
- ・音楽理論
- ・実技テスト実施（歌唱またはリコーダー演奏）
- ・学期末考査実施

3 学期 学習計画および学習内容

- ・合唱練習
- ・一年間のまとめ
- ・実技テスト実施